

環境経営レポート

株式会社笹原工務店

2023年度

(対象期間 2023年4月～2024年3月)



2022年度施工：長南町役場庁舎建設工事

2024年 6月30日発行
2024年11月 1日改訂

目 次

1. 組織の概要	1 頁
2. 対象範囲	1 頁
3. 環境経営方針	2 頁
4. 環境目標(本社・新鎌ヶ谷支店)	3～4 頁
5. 環境目標の実績(本社・新鎌ヶ谷支店)	5～7 頁
6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容	8～9 頁
7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果 並びに違反、訴訟等の有無	10 頁
8. 代表者による全体評価と見直しの結果	11 頁
9. 次年度の環境目標	12～13 頁
10. 取組状況	14～15 頁
11. 環境経営実施体制表	16 頁

1. 組織の概要

1) 事業所名及び代表者名

株式会社笹原工務店 代表取締役 笹原 孝志

2) 所在地

本社 : 千葉県市原市ちはら台西二丁目8番2

新鎌ヶ谷支店 : 千葉県鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷2-8-17新鎌ヶ谷Fタワー304

3) 環境保全関係の責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 常務取締役 笹原 一樹

担当者 経営企画部課長 杉本 孝行

連絡先 電話 0436-74-1421

FAX 0436-74-1422

電子メール sugimoto@sasahara-k.com

ホームページ <http://sasahara-k.com>

4) 事業内容

千葉県知事許可 特定 第4734号

土木工事業、建築工事業、大工工事業、左官工事業、とび・土工工事業、石工事業、屋根工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、鉄筋工事業、舗装工事業、板金工事業、ガラス工事業、塗装工事業、防水工事業、内装仕上工事業、建具工事業、水道施設工事業、解体工事業

5) 事業の規模

(4月～3月)

事業規模	単位	2021年度	2022年度	2023年度
売上高	百万円	2,246	2,177	2,356
従業員数	人	32	31	26
床面積	m ²	807	807	807

(2019年10月に新鎌ヶ谷支店を追加し、床面積変更)

2023年度工事実績:76件(下請8件)

2023年度二酸化炭素排出量:※114,689kg-CO2

※二酸化炭素排出係数は

平成30年度 東京電力エナジーパートナー調整後排出量係数0.455(kg-CO2/kWh)

2. 対象範囲（認証・登録範囲）

対象組織：本社、新鎌ヶ谷支店

対象活動：建築工事業、とび・土工工事業、土木工事業、解体工事業

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

〈環境理念〉

株式会社笹原工務店は、環境に配慮した設計・施工の普及に努力し、常に環境への取り組みを自主的・積極的に行い、地球環境と調和した持続可能な社会づくりに貢献します。

組織に適用される環境に関する法規等の遵守を誓約します。

〈行動指針〉

1. 次の事項について環境目標・活動計画を定め、継続的な改善に努めます。
 - 1) 二酸化炭素排出量の削減（低炭素社会への対応）
電力・化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
 - 2) 廃棄物排出量の削減及び再資源化の推進（循環型社会への対応）
事業活動から生じる廃棄物の削減、再利用に努めます。
 - 3) 総排水量の削減（水資源の保全）
工事に伴う水利用を最小限に抑える工夫を行い、日常の節水を徹底します。
 - 4) 施工計画等における環境配慮
事前環境調査の実施及び対策を検討します。
2. 従業員すべての参加による環境保全活動を推進します。
3. 環境への取り組みを環境活動レポートとしてとりまとめ公表します。

— 環境方針は、全従業員に周知徹底し、かつ、一般の方に公開します —

制定	2016年	8月	1日
改定	2017年	9月	1日
改定	2021年	4月	1日

株式会社笹原工務店

代表取締役 笹原 孝志

4、環境目標(2023年度設定) 本社分

作成年月日: 2023年6月30日改定

No	環境方針項目	環境目標項目	基準値	CO2 換算係数	年度目標					
			(2022年度実績)		2023年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量	0.455	基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減			
			58,452 kWh/年		57,867 kWh/年	57,283 kWh/年	56,698 kWh/年			
		2) 化石燃料消費量の削減	油種別消費量	2.320	基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減			
			32,262 ガソリン <L/年>		31,939 L/年	31,617 L/年	31,294 L/年			
			5,665 軽油 <L/年>	2.580	5,608 L/年	5,552 L/年	5,495 L/年			
		計(kg-CO ₂)	116,059 kg-CO ₂ /年		114,899 kg-CO ₂ /年	113,738 kg-CO ₂ /年	112,577 kg-CO ₂ /年			
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減			
			1,177 kg/年		1,165 kg/年	1,153 kg/年	1,142 kg/年			
		2) 建設副産物再資源化率の向上	再資源化率向上		基準値に対し 1 %向上	基準値に対し 2 %向上	基準値に対し 3 %向上			
			84 %/年		85 %/年	86 %/年	87 %/年			
3	水使用量の削減	水使用量の管理	水道使用量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減			
			140 m ³ /年		139 m ³ /年	137 m ³ /年	136 m ³ /年			
4	施工計画等における環境配慮	環境配慮設計の実施 事前環境調査の実施及び対策を検討	—		環境配慮設計及び事前環境調査を含めた検討会を実施する	環境配慮設計及び事前環境調査を含めた検討会を実施する	環境配慮設計及び事前環境調査を含めた検討会を実施する			

注1.本環境目標設定表は、毎年度見直すものとする。

注2.化学物質(PRTR対象物質含有物)は使用していないので、環境目標は設定していない。

注3.二酸化炭素排出係数は平成30年度東京電力エネルギーパートナー調整後排出係数0.455kg-CO₂/kWh

4、環 境 目 標(2023年度設定) 新鎌ヶ谷支店分

作成年月日：2023年6月30日改定

No	環境方針項目	環境目標項目	基準値	CO2 換算係数	年 度 目 標					
			(2022 年度実績)		2023 年度	2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量	0.455	基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減			
			6,858 kWh／年		6,789 kWh／年以下	6,721 kWh／年以下	6,652 kWh／年以下			
		2) 化石燃料消費量の削減	油種別消費量	2.32	基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減			
			2,068 ガソリン <L／年>		2,047 L／年以下	2,027 L／年以下	2,006 L／年以下			
		計 (kg-CO ₂)	7,918 kg-CO ₂ ／年		7,839 kg-CO ₂ ／年以下	7,760 kg-CO ₂ ／年以下	7,681 kg-CO ₂ ／年以下			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 1 %削減	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減			
			209 kg／年		207 kg／年以下	205 kg／年以下	203 kg／年以下			

注1.本環境目標設定表は、毎年度見直すものとする。

注2.化学物質(PRTR対象物質含有物)は使用していないので、環境目標は設定していない。

注3.二酸化炭素排出係数は平成30年度東京電力エネルギーパートナー調整後排出係数0.455kg-CO₂/kWh

5. 環境目標の実績 全社合計

No	環境方針項目・環境目標項目		基準値	CO2 換算係数	2023年度目標	活動期間(2023/4～2024/3) 12ヶ月間	
			(2022年度実績)			実績	達成率
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 1 %削減		—
			65,310 kWh/年	0.455	64,657 kWh/年	59,675 kWh/年	108.3%
		化石燃料消費量の削減	油種別消費量		基準値に対し 1 %削減		—
			34,330 ガソリン <L/年>	2.320	33,987 L/年	29,838 L/年	113.9%
			5,665 軽油 <L/年>	2.580	5,608 L/年	7,097 L/年	79.0%
		計(kg-CO ₂)	123,977 kg-CO ₂ /年		122,738 kg-CO ₂ /年	114,689 kg-CO ₂ /年	107.0%
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 1 %削減		—
			1,386 kg/年		1,372 kg/年	754.0 kg/年	182%
		建設副産物再資源化率の向上	再資源化率の向上		基準値に対し 1 %向上		—
			84 %/年		85 %/年	46.0 %/年	54.1%
3	水使用量の削減	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 1 %削減		—
			140 m ³ /年		139 m ³ /年	137.0 m ³ /年	101.2%
4	施工計画等における環境配慮	環境配慮設計の実施 事前環境調査の実施及び対策を検討	—		環境配慮設計及び事前環境調査を含めた検討会を実施する	環境配慮設計及び事前環境調査を含めた検討会を実施する	○

注.二酸化炭素排出係数は平成30年度東京電力エネルギーパートナー調整後排出係数0.455kg-CO₂/kWh

5. 環境目標の実績 本社分

No	環境方針項目・環境目標項目		基準値	CO2 換算係数	2023年度目標	活動期間(2023/4～2024/3) 12ヶ月間	
			(2022年度実績)			実績	達成率
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 1 %削減		—
			58,452 kWh／年	0.455	57,867 kWh／年	53,214 kWh／年	108.7%
		化石燃料消費量の削減	油種別消費量		基準値に対し 1 %削減		—
			32,262 ガソリン <L／年>	2.320	31,939 L／年	28,210 L／年	113.2%
			5,665 軽油 <L／年>	2.580	5,608 L／年	7,097 L／年	79.0%
		計(kg-CO ₂)	116,059 kg-CO ₂ ／年		114,899 kg-CO ₂ ／年	107,970 kg-CO ₂ ／年	106.4%
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 1 %削減		—
			1,177 kg／年		1,165 kg／年	618.0 kg／年	189%
		建設副産物再資源化率の向上	再資源化率の向上		基準値に対し 1 %向上		—
			84 ％／年		85 ％／年	46.0 ％／年	54.1%
3	水使用量の削減	水使用量の削減	水道使用量		基準値に対し 1 %削減		—
			140 m ³ ／年		139 m ³ ／年	137.0 m ³ ／年	101.2%
4	施工計画等における環境配慮	事前環境調査の実施及び対策を検討	—		環境配慮設計及び事前環境調査を含めた検討会を実施する	環境配慮設計及び事前環境調査を含めた検討会を実施する	○

注.二酸化炭素排出係数は平成30年度東京電力エネルギーパートナー調整後排出係数0.455kg-CO₂/kWh

5. 環境目標の実績 新鎌ヶ谷支店分

No	環境方針項目・環境目標項目		基準値	CO2 換算係数	2023年度目標	活動期間(2023/4～2024/3) 12ヶ月間	
			(2022 年度実績)			実 績	達成率
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 1 %削減		—
			6,858 kWh／年	0.455	6,789 kWh／年	6,461 kWh／年	105.1%
		化石燃料消費量の削減	油種別消費量		基準値に対し 1 %削減		—
			2,068 ガソリン <L／年>	2.320	2,047 L／年	1,628 L／年	125.8%
		計(kg-CO ₂)	7,918 kg-CO ₂ ／年		7,839 kg-CO ₂ ／年	6,717 kg-CO ₂ ／年	○ 116.7%
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 1 %削減		—
			209 kg／年		207 kg／年	136.0 kg／年	152%

注.二酸化炭素排出係数は平成30年度東京電力エナジーパートナー調整後排出係数0.455kg-CO₂/kWh

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 本社分

No	環境方針項目・環境目標項目		具体的活動内容	取組結果とその評価	次年度の取組内容
1	二酸化炭素排出量の削減	電力使用量の削減	①休憩時・退社時等の消灯	①本社全体で、昼休憩時及び退社時に消灯による節電を徹底できた	①「休憩時・退社時等の消灯」を継続する
			②省エネモード等の積極活用	②パソコンや複合機の省エネモードを徹底した	②「省エネモード等の積極活用」を継続する
			③空調の適温化	③空調の適温化及びクールビズ・ウォームビズの実施による冷暖房の稼働時間短縮を徹底した	③「空調の適温化」を継続する
			④NO残業DAYの活用による消費電力の削減	④NO残業DAYの周知により、時間外労働の削減(消費電力の削減)に一定の効果があつた	④「NO残業DAYの活用による消費電力の削減」を継続する
			⑤LED照明やセンサーライトによる節電の実施	⑤LED照明やセンサーライトによる節電を実施した	⑤「LED照明やセンサーライトによる節電の実施」を継続する
		化石燃料消費量の削減	①省エネ運転の実行	①エコ運転を周知徹底し、省エネ運転の実行に一定の効果があつたと考える	①「省エネ運転の実行」を継続する
			②省エネ型自動車の優先利用	②新車との入れ替えにより、燃費効率の良い車を有効活用できた	②「省エネ型自動車の優先利用」を継続する
			③WEB会議の活用による化石燃料消費量の削減	③WEB会議の活用等、移動が減ったことにより、化石燃料消費量削減に一定の効果があつた	③「WEB会議の活用による化石燃料消費量の削減」を継続する
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	①分別の徹底	①分別意識が徹底できた	①「分別の徹底」を継続する
			②リサイクルの推進	②ミスコピーの積極利用等により、コピー用紙の使用料を削減できた	②「リサイクルの推進」を継続する
			③リサイクルボックス導入による再資源化の推進	③リサイクルボックスを本社に設置し、分別ができた	③「リサイクルボックス導入による再資源化の推進」を継続する
		建設副産物再資源化率の向上	①分別の徹底	①分別を10種類に分けて分別廃棄を徹底することができた	①「分別の徹底」を継続する
			②リサイクルの推進	②分別したことによりリサイクルが推進できた	②「リサイクルの推進」を継続する
3	水使用量の削減	水使用量の削減	①水使用量の節約	①節水を周知徹底している	①「水使用量の節約」を継続する
			②節水用機器による水道使用量の削減	②トイレ等に節水用機器を導入している	②「節水用機器による水道使用量の削減」を継続する
4	施工計画等における環境配慮	環境配慮設計の実施 事前環境調査の実施及び対策を検討	①近隣環境の事前調査	①近隣環境の事前調査により、低騒音環境対策型の重機使用を徹底させた	①「近隣環境の事前調査」を継続する
			②事前施工検討会の開催	②工事協力業者へ環境要望書を配布し、アイドリングストップ等を徹底するよう依頼した	②「事前施工検討会の開催」を継続する
			③施工前準備チェックシートの活用による法令届出及び掲示物の確認	③チェックシートの活用により、法令届出の提出漏れ及び掲示物の掲示漏れを防ぐことができた	③「施工前準備チェックシート」の活用による法令届出及び掲示物の確認」を継続する
			④既存建物の再利用等環境配慮設計の実施	④設計時の既存建物再利用による環境配慮設計を実施した	④「環境配慮設計の実施」を継続する

※「空調の適温化」を見直すとは、現実に合わせて冷房設定を28℃→26℃、暖房設定を20℃→22℃へと適温を変更すること。

6. 環境活動計画の取組結果とその評価、次年度の取組内容 新鎌ヶ谷支店分

No	環境方針項目・環境目標項目	具体的活動内容	取組結果とその評価	次年度の取組内容
1	二酸化炭素排出量の削減	①休憩時・退社時等の消灯	①支店事務所で、昼休憩時及び退社時に消灯による節電を徹底できた (事務所内の各種設備については賃貸契約のため、省エネ機器(LED照明等)への取り替えは計画していない。)	①「休憩時・退社時等の消灯」を継続する
		②省エネモード等の積極活用	②パソコンや複合機の省エネモードを徹底した	②「省エネモード等の積極活用」を継続する
		③空調の適温化	③空調の適温化及びクールビズ・ウォームビズの実施による冷暖房の稼働時間短縮を徹底した	③「空調の適温化」を継続する
		④NO残業DAYの活用による消費電力の削減	④NO残業DAYの周知により、時間外労働の削減(消費電力の削減)に一定の効果があった	④「NO残業DAYの活用による消費電力の削減」を継続する
	化石燃料消費量の削減	①省エネ運転の実行	①エコ運転を周知徹底し、省エネ運転の実行に一定の効果があったと考える	①「省エネ運転の実行」を継続する
		②WEB会議の活用による化石燃料消費量の削減	②WEB会議の活用等、移動が減ったことにより、化石燃料消費量削減に一定の効果があった	②「WEB会議の活用による化石燃料消費量の削減」を継続する
2	廃棄物排出量の削減	①分別の徹底	①分別意識が徹底できた	①「分別の徹底」を継続する
		②リサイクルの推進	②ミスコピーの積極利用等により、コピー用紙の使用料を削減できた	②「リサイクルの推進」を継続する

※「空調の適温化」を見直すとは、現実に合わせて冷房設定を28℃→26℃、暖房設定を20℃→22℃へと適温を変更すること。

7. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

当社に係る環境関連法規等は下記の通りですが、下記のように遵守状況を2024年4月に確認した結果、違反はありませんでした。また、関係機関からの指摘、環境関連の訴訟も過去3年間ありません。

区 分	環 境 関 連 法 規 等 名 称	遵 守 事 項
廃 棄 物	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (一般廃棄物の処理)	・一般廃棄物の分別収集、排出
	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (産業廃棄物の適正処理)	・産業廃棄物の適正処理 ・マニフェスト管理
	市原市廃棄物の適正な処理及び減量に関する条例	・廃棄物の減量化、再資源化 ・廃棄物の適正処理
	鎌ヶ谷市廃棄物の減量及び適正処理等に関する条例	・廃棄物の減量化、再資源化 ・廃棄物の適正処理
資 源 循 環	特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)	・使用済家電の適正排出
	建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	・法適用工事の計画書等を期日までに届出 ・特定建設資材の分別と再資源化
	使用済自動車の再資源化等に関する法律 (自動車リサイクル法)	・自社使用済み自動車のリサイクル処分
騒 音 ・ 振 動	騒音規制法	・特定建設作業実施届出書を期日までに届出、規制基準の順守
	振動規制法	・特定建設作業実施届出書を期日までに届出、規制基準の順守
大 気 汚 染	自動車NOx・PM法 (排ガス抑制法)	・排ガス基準適合車の使用
	フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	・簡易点検の実施 ・点検・修理、改修等の履歴を、記録・保存 ・廃棄時のフロンの回収、再生、破壊等に必要な費用の負担
	大気汚染防止法	・工事着工前の石綿有無の調査の実施 ・事前調査に関する記録・保存 ・調査結果を期日までに届出

8. 代表者による全体評価と見直しの結果

見直し実施日	2024年6月30日	(■ 定期見直し □ 臨時見直し)		
見直し対象期間	2023年 4月 1日 ~2024年 3月 31日			
出席者	代表者、環境管理責任者、部門責任者			
前回の指示への取組結果	従来からの活動に加え、クールビズ・ウォームビズの推進による節電対策の徹底により、電気消費量の削減を実現できた。 エコ運転の周知徹底、台数の減少の影響もあり、使用量を削減することができた。			
見直しに必要な情報	①環境関連法規の遵守状況(環境関連法規等の遵守記録による) ②環境目標の達成状況及び環境活動計画の実施状況、その評価結果(環境管理計画書による) ③問題点の是正処置及び予防処置の結果(是正処置／予防処置報告書による) ④外部からの環境に関する苦情等の受付結果(外部コミュニケーション記録による) ⑤その他(法規制の動向等)			
代表者による評価 経営的観点	【環境経営システムが有効に機能しているか】(①、②、③、④、⑤等を踏まえて評価)			
	有効に機能しているが、産業廃棄物再資源化率の向上については結果の伴わない状況が続いている。			
	【環境への取組が適切に実施されているか】(②等を踏まえて評価)			
	目標項目	目標達成状況	活動計画実施状況	目標・活動計画実施状況の評価(達成の場合:目標設定方法や取組方法の問題点、次年度の方向性 未達の場合:原因の明確化、次年度の目標や対応策)
	CO2排出量の削減	○	○	電気使用量については、稼働時間の短縮の効果もあり削減できた。車両の減少の影響もあり、ガソリンは使用量削減となつたが、現場での発電機等に使用により軽油は増加となった。
	再資源化率の向上	△	○	一般廃棄物は竣工図面の電子化が終了し、目標を達成することができた。産業廃棄物については混廃等の比率を下げるができず、目標を達成することができなかった。
代表者による見直し 変更の必要性の有無・変更に必要な具体的指示事項	水使用量の節水管理	○	○	感染予防対策が落ち着いたことにより、洗濯等の使用機会の削減により、目標を達成することができた。
	施工計画等における環境配慮		○	近隣環境への更なる配慮を徹底する(数値目標は設定していない。)
	【総括】(環境活動レポートに転記)			
エコアクション21の活動を通じて、社員の環境保全に取り組む意識が浸透し、休憩時間の消灯を始め、現場を含めた廃棄物の分別、エコ運転による燃料消費量の削減等、社員の行動にも一定の効果が表れている。 CO2排出量の削減対策として、従来より実施している毎週水曜日の「NO残業デー」に加え、クールビズ・ウォームビズの実施による冷暖房の稼働時間短縮により、消費電力に削減に努めている。また、社内会議等を可能な限りWEB化することで、移動時間を減らし、化石燃料の削減にも努めている。 再資源化率の向上については、一般廃棄物は竣工図面の電子(PDF)化が終了したこともあり、前年度排出量に対し、大きく削減することができた。産業廃棄物再資源化率向上については混合廃棄物等の比率を下げるができなかったため、目標を達成できなかった。 水使用量は感染予防対策が落ち着いたこともあり、洗濯等の機会が減少し、使用量を削減することができた。 最後に、施工計画等における環境配慮については、現場施工前の環境調査等を積極的に推進し、現場事前施工検討会を通じて、環境への配慮を確実に実行する体制を構築できた。今後の工事についても現在の体制を継続し、更なる意識向上を図りたい。				

9. 次年度の環境目標について 本社分

作成年月日： 2024年 6月30日改定

No	環境方針項目	環境目標項目	基準値	CO2 換算係数	年 度 目 標					
			(2023 年度実績)		2024	年度	2025	年度	2026	年度
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量		基準値に対し 2 %削減		基準値に対し 3 %削減		基準値に対し 4 %削減	
			53,214 kWh/年	0.455	52,150 kWh/年		51,618 kWh/年		51,085 kWh/年	
		2) 化石燃料消費量の削減	油種別消費量		基準値に対し 2 %削減		基準値に対し 3 %削減		基準値に対し 4 %削減	
			28,210 ガソリン <L/年>	2.320	27,646 L/年		27,364 L/年		27,082 L/年	
			7,097 軽油 <L/年>	2.580	6,955 L/年		6,884 L/年		6,813 L/年	
		計 (kg-CO ₂)	107,970 kg-CO ₂ /年		105,810 kg-CO ₂ /年		104,731 kg-CO ₂ /年		103,651 kg-CO ₂ /年	
2	廃棄物排出量の削減	1) 一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 2 %削減		基準値に対し 3 %削減		基準値に対し 4 %削減	
			618 kg/年		606 kg/年		599 kg/年		593 kg/年	
		2) 建設副産物再資源化率の向上	再資源化率向上		基準値に対し 2 %向上		基準値に対し 3 %向上		基準値に対し 4 %向上	
			46 %/年		47 %/年		47 %/年		48 %/年	
3	水使用量の削減	水使用量の管理	水道使用量		基準値に対し 2 %削減		基準値に対し 3 %削減		基準値に対し 4 %削減	
			137 m ³ /年		134 m ³ /年		133 m ³ /年		132 m ³ /年	
4	施工計画等における環境配慮	環境配慮設計の実施 事前環境調査の実施 及び対策を検討	—		環境配慮設計及び事前環境調査を含めた検討会を実施する		環境配慮設計及び事前環境調査を含めた検討会を実施する		環境配慮設計及び事前環境調査を含めた検討会を実施する	

注1.本環境目標設定表は、毎年度見直すものとする。

注2.化学物質(PRTR対象物質含有物)は使用していないので、環境目標は設定していない。

注3.二酸化炭素排出係数は平成30年度東京電力エナジーパートナー調整後排出係数0.455kg-CO₂/kWh

9. 次年度の環境目標について 新鎌ヶ谷支店分

作成年月日: 2024年 6月30日改定

No	環境方針項目	環境目標項目	基準値	CO2 換算係数	年 度 目 標					
			(2023 年度実績)		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
1	二酸化炭素排出量の削減	1) 電力使用量の削減	電力使用量	0.455	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減	基準値に対し 4 %削減			
			6,461 kWh/年		6,332 kWh/年以下	6,267 kWh/年以下	6,203 kWh/年以下			
		2) 化石燃料消費量の削減	油種別消費量	2.32	基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減	基準値に対し 4 %削減			
			1,628 ガソリン <L/年>		1,595 L/年以下	1,579 L/年以下	1,563 L/年以下			
		計 (kg-CO ₂)	6,717 kg-CO ₂ /年		6,582 kg-CO ₂ /年以下	6,515 kg-CO ₂ /年以下	6,448 kg-CO ₂ /年以下			
2	廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量の削減	一般廃棄物排出量		基準値に対し 2 %削減	基準値に対し 3 %削減	基準値に対し 4 %削減			
			136 kg/年		133 kg/年以下	132 kg/年以下	131 kg/年以下			

注1.本環境目標設定表は、毎年度見直すものとする。

注2.化学物質(PRTR対象物質含有物)は使用していないので、環境目標は設定していない。

注3.二酸化炭素排出係数は平成30年度東京電力エナジーパートナー調整後排出係数0.455kg-CO₂/kWh

10. 取組状況

＜工事現場における分別・リサイクル活動＞

◎各工事現場においては、現場責任者を中心に廃棄物の分別・リサイクル活動による建設廃棄物の削減に取り組んでおります。
また、協力業者の皆様にも、分別の徹底をお願いしております。

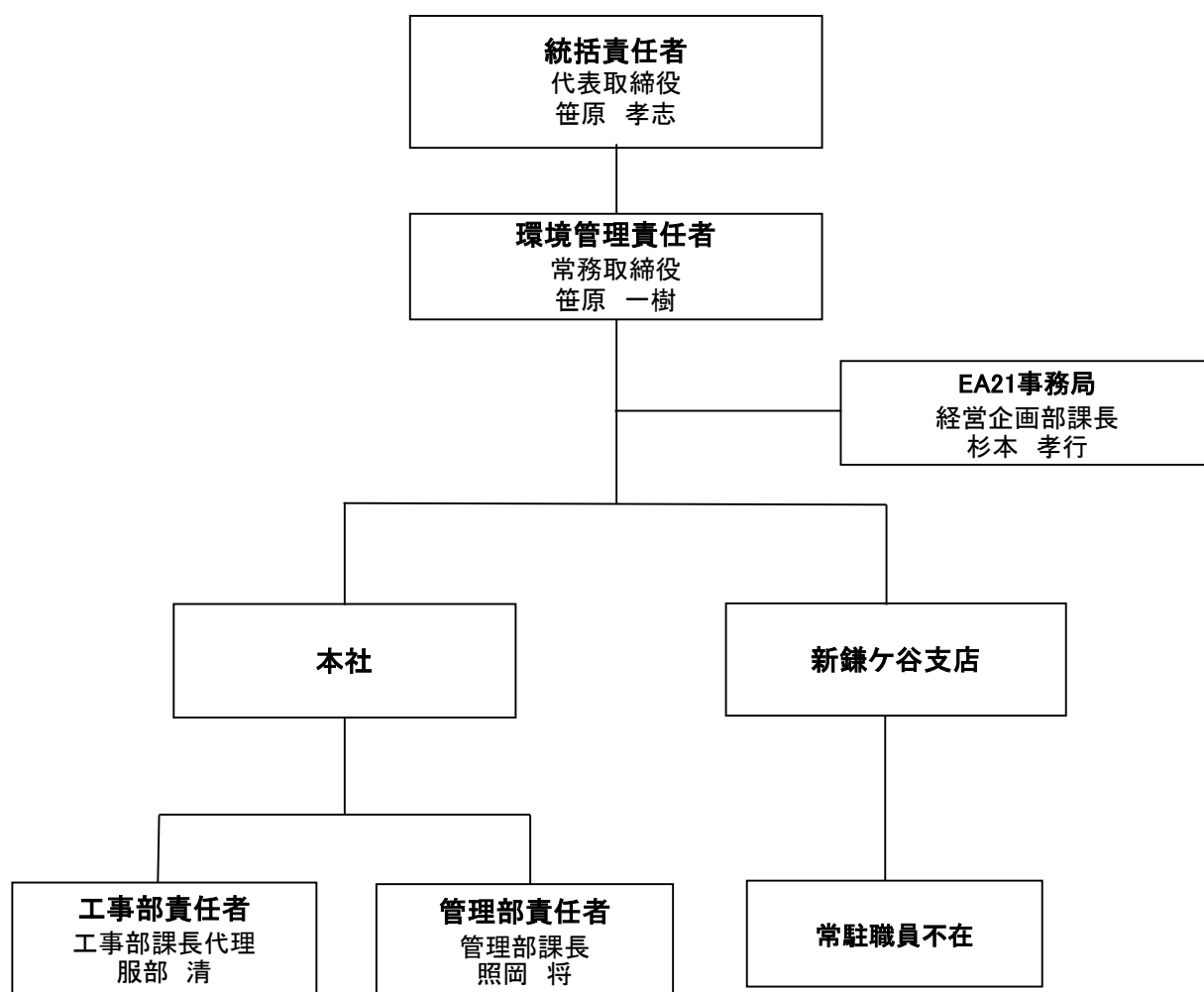


<近隣清掃活動>

◎社員の自主的参加のもと、本社近隣の清掃を行い、地域環境の保護に努めております。



11. 環境経営実施体制表



代表者 (経営者)	1. 環境経営に関する総括責任者 2. 環境への取組を適切に実行するための資源を用意する 3. 環境方針の策定と全従業員への周知 4. 実施体制の構築、環境管理責任者の任命 5. 全体の評価と見直し 6. 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	1. 環境負荷と環境への取組状況の把握及び評価 2. 環境関連法規の取りまとめ 3. 環境目標及び環境活動計画の策定 4. 環境活動の取組結果を代表者へ報告 5. 環境関連文書及び記録の作成・管理 6. 環境活動レポートの作成・公表
環境事務局	1. 環境管理責任者の補佐 2. 環境活動計画の管理 3. 環境活動の実績集計
経営企画部・工事部 ・管理部・新鎌ヶ谷支 店責任者	1. 各部門の環境目標及び環境活動計画の策定 2. 教育・訓練の実施及び達成状況の報告 3. 自部門の問題点の発見、是正、予防措置の実施
全従業員	1. 環境方針の理解と環境への取組の重要性を自覚 2. 決められたことを守り自主的・積極的に環境活動への参加